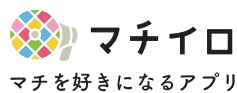


## 第2回定例会の概要

こんなことが決まりました・・・・・・・・・・	1
一般質問（7名）・・・・・・・・・・	4
委員会活動をお知らせします・・・・・・・・	11
一部事務組合・広域連合議会の動き・・・・・・・・	14
議会日誌・編集後記・・・・・・・・・・	15



No.74より議会だよりをリニューアルしました！



No. 76  
令和5年7月

# こんなことが決まりました

## 第2回定例会

令和5年第2回定例会は、6月19日から26日までの8日間の会期で開催され、一般質問のほか、令和5年度各会計補正予算、条例の一部改正などについて審議しました。

令和5年度 一般会計補正予算

5億6,226万8千円増額

原案可決

総額

228億9,824万1千円

令和5年度一般会計補正予算（第2号）にて5億6,226万8千円を増額し、総額を228億9,824万1千円とするものです。



75歳以上のみの高齢者世帯などに無償貸与される自動起動型防災ラジオ（見本）

### ●一般会計の主な内容

項目	補正額	補正の理由
物価高騰等対策生活支援事業経費 (地域経済緊急対策応援キャンペーン事業補助金)	2億2,860万8千円追加	ほくと地域応援券(第5弾)として全市民に1人当たり5千円のクーポン券の交付等を行うため
コンビニ交付事務経費	987万9千円追加	住民票の写しや印鑑証明をコンビニ等でマイナンバーカードを用いて取得できるようにするため
災害対策経費	4,645万3千円増額	災害情報伝達の多重化を図る目的で、自動起動型防災ラジオの導入及び運用のため
中学校施設改修事業経費	214万5千円増額	バリアフリー対策として、上磯中学校生徒玄関にスロープを設置するため

### コンビニ交付事務経費

Q 北斗市内コンビニエンスストア等の何カ所で住民票の写しや印鑑証明の取得ができるようになるのか。

A 市内28カ所のコンビニエンスストア等で取得が可能となり、本年度中に実施予定です。



上磯中学校生徒玄関（改修前）

### 災害対策経費

Q どのような目的で市が防災ラジオを整備するのか。

A 一定の要件を満たす高齢者世帯などに防災ラジオを無償貸与することで、防災無線が聞こえにくくても災害情報を確実に届けるためです。

## ▼条 例

案 件	付 託	結 果
北斗市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	総務常任委員会へ付託	原案可決
北斗市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	総務常任委員会へ付託	原案可決
北斗市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正	文教厚生常任委員会へ付託	原案可決
北斗市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営の基準に関する条例の一部改正	文教厚生常任委員会へ付託	原案可決
北斗市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正	文教厚生常任委員会へ付託	原案可決
北斗市営住宅条例の一部改正 ○昭和46年に建設された久根別団地の簡易耐火構造平屋建て・鉄筋コンクリート造4棟8戸を老朽化に伴い、居住の用に供することが困難なため用途廃止)		原案可決

☞11ページの「委員会活動をお知らせします」で詳細をご覧ください

## ▼そ の 他

案 件	結 果
財産の取得 ○上磯小学校、萩野小学校、上磯中学校の児童生徒用机・イスの更新	原案可決
令和4年度北斗市一般会計繰越明許費繰越計算	報告済
令和4年度北斗市下水道事業会計予算繰越計算	報告済
令和4年度北斗市一般会計事故繰越し繰越計算	報告済



## 「議会だより」のアプリ配信ご利用ください！

議会だよりは、配信アプリ「マチイロ」でも見ることができます。  
発行日にはプッシュ通知でお知らせするので、手軽にすぐに議会だよりを読むことができます。

### ご利用方法

利用するには、お手持ちのスマートフォンやタブレットに「マチイロ」のアプリをインストールしていただき、「北斗市議会だより」を登録してください。  
下記QRコードから、ご利用の端末にあわせてアプリをインストールしてください。

### アプリダウンロードサイト

Android OS	iOS
	

※QRコードは株式会社デンソーウェブの商標登録です。



## 第2回臨時会

令和5年第2回臨時会は、5月12日に開催され、正副議長、各常任委員会の所属などの議会構成を決めたほか、令和5年度一般会計補正予算、条例の一部改正、専決処分の承認などについて審議しました。

(正副議長、各常任委員会の所属などの議会構成については、「議会だよりNo.75(令和5年5月)」でお知らせしたとおりです。)



### 令和5年度 各会計補正予算

原案可決

会計名(補正番号)	補正額	総額
一般会計補正予算(第1号)	1億2,285万2千円追加	223億3,597万3千円

#### ●一般会計の主な内容

項目	補正額	補正の理由
個人番号カード(マイナンバーカード)交付事務経費	2,507万3千円増額	マイナポイント申込期限延長に伴い、業務委託期間延長のため
物価高騰等対策生活支援事業経費	8,205万7千円追加	食費等の物価高騰で特に影響を受ける低所得の子育て世帯への支援のため
一般廃棄物最終処分場施設改修事業経費	803万円追加	機器の故障に伴う中山一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設汚水浄化機器改修工事のため



マイナンバーカード作成支援窓口のようす

#### 個人番号カード交付事務経費

Q 北斗市内でのマイナンバーカードの申請の実績はどのくらいなのか。

A 令和5年3月末時点で3万6,649件、率としては81.4%です。

#### 物価高騰等対策生活支援事業経費(子育て世帯支援特別給付金)

Q 全体で何人分の特別給付金の給付を見込んでいるのか。

A 全体で1,572人の児童への給付を想定しています。

## ▼条 例

案	件	結 果
北斗市税条例の一部改正 ○地方税法等の改正に伴い、森林環境税の導入に伴う賦課徴収方法の規定や軽自動車税に係るグリーン化特例の対象期限の延長など、市税条例について所要の改正を行おうとするもの		原案可決
北斗市国民健康保険税条例の一部改正 ○地方税法施行令等の改正に伴い、後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額の引上げや低所得の軽減措置の拡充など、国民健康保険税条例について所要の改正を行おうとするもの		原案可決

### 令和4年度 一般会計補正予算【専決処分】

原案承認

会計名(補正番号)	補正額	総額
一般会計補正予算(第15号)	1億8,660万8千円追加	241億8,323万5千円



佐々木 亮 議員



録画映像

人口減少問題と学校教育に関する件

**問** 子どもたちが、自らの生命の尊さを知ることなど具体的な進め方は

**答** 教育長  
道徳授業や体験活動を通じて生命の尊さを実感

**問** 令和5年度市政執行方針及びび教育行政執行方針に人口減少問題への取り組み、学校での推進目標が掲げられていますが、具体的な計画等について質問します。

(1)人口減少問題への取り組みとして、中長期的に計画されている事業はあるのか。

**答(市長)** (1)人口減少問題の取り組みの一つの子育て支援は、不妊治療費助成や妊産婦の健診、子ども医療費の助成、産後ケア事業、多様な保育サービスなど充実した支援を実施していますが、さらに、充実・拡大が必要との認識をしています。

また、昨年度からは、結婚に対する意欲の向上を図り、出会いの機会を提供する事業として、「婚活・友活(ともかつ)講座」を開催し、結婚の希望をかな

える支援を開始したほか、子どもの包括的な相談支援を行う「こども家庭センター」を令和6年度に整備できるよう検討を進めており、結婚・妊娠・出産から育児、子育てまで、切れ目のない支援を充実させる所存です。

**問** (2)教育行政執行方針の1に「従来の教育の考え方を見つめ直す必要があるのではないか」とありますが、具体的にどのような内容を見直すのか。

また、「自らの生命の尊さを知ること」や「自己肯定感を高めること」、「人を思いやる気持ちを育てていくこと」とは具体的にどのように進めるのか。(3)教育行政執行方針の2に不登校の問題や適応指導教室について触れていますが、現状と今後の具体的な計画をお知らせください。

(4)教育行政執行方針の3に「校則や制服の時代にあつたものへの見直しが必要な時期」とありますが、制服の変更に関して、これまでどのような議論があったか、今後のスケジュール、制服変更に伴う新たな課題をお知らせください。

**答(教育長)** (2)これまでの教育現場では、一斉授業による一律「教育が主体でしたが、これからは、「そろえる」教育から「伸ばす」教育、多様性を重視した教育への転換を進めるために一層のアクティブラーニングの推進が必要です。

具体的には、GIGAスクール構想の推進により、子ども主体の学びを進めるほか、学年横断、教科横断により、その教科の本質の学びに加え、教科の枠組みを超えた実社会に生きる学びに取り組みでまいるたい。

「自らの生命の尊さを知ること」や「自己肯定感を高めること」などの具体的な取り組みは、道徳授業における「がん教育」や「性教育」のほか、体験活動、防災教室等を通じて、生命の尊さを実感させ、理解を深めてまいります。

(3)本市の不登校児童・生徒数は令和4年度末139人であり、不登校の対応策は、原因をつきとめ解決策を学校や保護者等と協議することが重要であり、学校だけではなく家庭との連携が必要不可欠です。

学校では、未然防止、初期対応、自立支援を重点とし、児童・生徒の居場所づくり、教育相談の実施、意欲的に学習に臨めるような授業づくりのほか、別室登校やタブレット端末を活用した家庭での学習機会の確保などに取り組んでいます。

今後は、タブレット端末を活用し、それぞれの学習進度に応じた授業の実施や、指導者の確保が課題ではありますが、常設の適応指導教室の増設の検討を進めています。

(4)昨年6月に、大規模中学校の3校において、個別に制服を見直す検討を進めて

いることが判明したところでです。

このことを踏まえ、昨年9月に、市内各中学校の校長と教育委員会で協議を行い、ジェンダー平等に関する取り組みを進めるため、制服の見直しをすること、そのためには、ブレザー化が必要であり、小規模校単独での見直しは、保護者等の経済的側面より困難であること、特認校制度を利用して、学年の途中で転校した場合の経済的負担を考慮すべきであることなどが議論され、制服の共通化が最善ではないかという結論に至りました。

今後は、最終サンプルの作製・確認、対象児童及び保護者等への周知、販売店との調整などを行う予定で、また、制服変更に伴う新たな課題等は、現在、統一制服に関する支援施策が可能であるかを検討していることと、統一制服とすることへの対象児童、保護者等、学校教育現場の皆さまへの理解を深めていくことが重要であるものと考えています。



防災教室のようす「上磯小学校」



工藤 秀子 議員



録画映像

北斗市農業施策及び

漁業振興に関する件

**問** 農業施策・漁業施策での担い手不足に対する今後の方向性は

**答** 市長  
生産基盤の整備や複合経営、高付加価値の推進などの取り組みを継続し、新規就業者にとって魅力ある産業へと転換できるように、生産性の向上や経営の安定化、高所得化を図ることと認識している

農家や漁師も高齢化が進んでいる状況かと思えます。

そこで市の農業施策・漁業施策での担い手不足に対する補助事業・単独事業について、それぞれの内容と件数及び今後の方向性をお知らせください。

**答(市長)** 本市の基幹産業である農業、漁業については、品質向上や高付加価値の取り組みを推進し、食の安定供給という役割を将来にわたって果たしていくため、持続的経営に必要な担い手確保に向けた各種事業を継続的に展開してきたところです。

担い手不足に対する補助事業、単独事業の内容と件数については、令和4年度の実績で、農業では、国の補助事業として、農業者を目指す方に対し、就農前の研修期間と就農直後の経営確立に必要な資金を交付する「北海道農業次世代人材投資事業補助金」が5件、地域が目指すべき農地利用の姿を実現するため、将来の集約化に重点を置き、生産の効率化に取り組み場合に必要な機械、施設の導入を支援する「農地利用効率化等支援交付金」が2件となっています。

市の単独事業としては、北斗市に移住し、新たに農業経営を開始する新規就農者に対し、就農に向けた自己資金を維持し、研修に集中できる環境を整えることを目的に家賃支援を行う「新規就農者家

賃支援事業補助金」や、新規就農者を指導、育成する受け入れ農家を対象とした「新規就農者受入農家支援事業」を実施していますが、交付実績はありません。

漁業では、補助事業として、就業相談会の開催や就業準備資金の交付、漁業現場での長期研修など、就業準備から定着までを支援する「漁業担い手確保緊急支援事業」や、この事業に引き続き、独立に向けて操業に必要な技術を早期に習得させるため、洋上研修を行う指導者を対象とした「新規漁業就業者促進対策事業」を実施しており、また、単独事業としては、就業前に実施される漁業研修から、就業後の漁業経営が安定するまでの一定期間において、研修や船舶等の取得に要する経費を支援する「漁業新規参入者等支援事業」を実施していますが、いずれも交付実績はありませんでした。

このように様々な事業を実施していますが、担い手不足の解消のために最も重要なことは、生産基盤の整備や複合経営、高付加価値化の推進などこれまでの取り組みを継続し、新規就業者にとって魅力ある産業へと転換できるように、生産性の向上や経営の安定化、高所得化を図ることであると認識しています。

こうしたことを目的に、農業では、「農業機械等導入支援事業補助金」を今年度創設するとともに、「施設園芸用ハ

ウス等導入事業補助金」を継続実施し、漁業においても、漁具や設備の購入に係る経費の一部を支援する「漁業経営活性化対策事業補助金」を令和4年度から開始し、今年度は、漁獲物の鮮度保持による高付加価値化を図る目的で、荷さばき場への活魚用水槽の設置に対し支援を行ってまいります。

さらに、今後、スマート農業やマリンITなど、地域社会におけるデジタルトランスフォーメーションの進展により、従来からイメージされる厳しい労働環境が改善され、作業の省力化や生産性の向上が図られることによって、成長産業として今後の発展が期待されていくことが重要であり、こうした農業、漁業経営の将来性や発展性、やりがいや経営状況などを、新規就業者向けのイベント等において具体的に説明しつつ、農業者や漁業者の方々とも協議を重ね、引き続き担い手確保に向けた施策を講じてまいります。



当別でのコンブ干しのようす



日笠 朝子 議員



録画映像

北海道新幹線トンネル工事

掘削発生土に関する件

**問** 村山地区受入地モニタリング結果の直近の数値は

**答** 市長  
6月5日採水分のセレンの最高値は0・019mg/L

一般質問

**問** 新幹線トンネル工事掘削発生土が搬入されている村山地区受入地では、地下水より環境基準値0・01mg/Lを超える濃度のセレンが頻繁に検出されるという深刻な事態が続いております。

以下お伺いします。

(1)村山地区受入地における令和4年11月21日以降の重金属等のモニタリング結果の中で、セレン濃度が最高値、最低値を示した時の検査月日、数値及び直近の数値をお知らせください。

(2)村山地区受入地周辺の井戸水の現在の水質、特に重金属濃度データについてお知らせください。

(3)柳沢地区仮置き場から河川に放流されている水の現在の状況を知らせください。  
**答** (市長) 経緯としては、令和3年5月

31日に、村山地区受入地で実施されている地下水モニタリング観測孔4箇所のうち一つから、環境基準値を超えるセレンが計測されたと鉄道・運輸機構から報告され、環境基準値の超過が確認された場合の対応としては、北斗市村山地区の発生土受入に関する協定書において、鉄道・運輸機構が実態に即した適切な回避措置を講じるものとなっておりますので、市は、直ちに講ずべき措置の実施を要請し、村山地区受入地への対策土の搬入は一時中断されている状態となっております。

本事案の原因については、受入地内の対策土に触れた雨水や雪解け水が、対策土盛土箇所下部にある堰堤付近のくぼ地に流入し、令和2年11月頃から令和3年6月まで、継続的に滞水した結果、水分の蒸発等によりセレン濃度が上昇した状態で集中的に地下に浸透し、長時間にわたって地下に供給されたことが原因であると報告されています。

その後、鉄道・運輸機構は令和3年6月から10月の間に、滞水の汲み上げ、滯水箇所の堆積物の除去及び埋め戻しなどの対策を実施しましたが、令和4年4月11日採水分の検査結果で再びセレンの環境基準値の超過が確認されています。

また、6月からは観測孔を追加して調査が行われ、地盤中に浸透したセレンが、地下で比較的濃度の高いエリアを形成し、

融雪や降雨などにより水位が変動する地下水に触れることでセレン濃度が上昇しているとの分析結果が報告されています。本年1月には、「村山地区受入地環境技術検討会」が設置され、セレン濃度の低減に向けた検討が行われ、実施検討とされる対策工の案について、本年5月26日に、市は、報告を受けています。

(1)令和4年11月21日以降にセレンの環境基準値の超過が確認された地点の検査結果のうち、最高値を示したのは、1月16日、1月30日、3月27日採水分に係る検査で、計測値は0・03mg/Lです。最低値を示したのは、11月28日、12月5日、12月12日採水分に係る検査で、計測値は0・002mg/Lです。

また、直近の6月5日採水分のセレンの最高値は、0・019mg/Lです。(2)村山地区受入地周辺では、5箇所の井戸において水質検査を実施し、直近で報告された6月5日に採水した井戸水の検査では、環境基準値の超過は確認されておらず、重金属については、鉛、ヒ素、セレンの検査を行い、2箇所ヒ素が環境基準値の10分の1に当たる0・001mg/Lと計測されていますが、その他は、定量下限値0・001mg/L未満となっています。

(3)柳沢仮置き場の状況としては、対策土を仮置きする箇所の原地盤及び周囲の土

側溝には、全て遮水シートが敷かれ、仮置きする対策土も保護シートで覆い、水が浸透しないよう対策がされています。鉄道・運輸機構からは、基本的に、シート表面を流れた雨水などが土側溝から沈砂池に集まり、濁水処理施設で必要な対応をした上で、万太郎沢川に放流しているとの報告を受けており、沈砂池、濁水処理施設の放流口、河川への放流箇所の上流及び下流において水質検査が行われていますが、これまで基準値の超過は確認されていません。

**問** 村山地区受入地、柳沢地区仮置き場、その後の処分場について、どのように今考えているのでしょうか。  
**答** (副市長) まず最優先で鉄道・運輸機構に対処していただくべきは村山地区受入地の状況の改善であり、見通しをきちんと立てていただきたいと考えています。



車窓からの柳沢地区仮置き場



前田 治 議員



録画映像

### 教員の变形労働時間制に関する件

**問** 变形労働時間制の活用は自分で選択できる権利という認識か

**答** 教育長  
お見込みのとおりです

## 一般質問

**問** 教育長は、令和5年度教育行政執行方針の中で、「教職員の働き方改革は、令和5年度より变形労働時間制を導入し、さらなる在校時間の短縮につなげる」と表明しました。

一方、4月に国が公表した実態調査では、平日の勤務時間は小学校教諭が11時間23分、中学校教諭が11時間33分（持ち帰り時間を含む）となっており、教員の長時間労働は依然深刻ですが、私はその原因として、深刻な教員不足と「定額働かせ放題」の教員給与と特別措置法にあると考えます。

以下の点についてお伺いします。

- (1)市内教職員の勤務時間の現状について。
- (2)教員給与と特別措置法への教育長の認識について。

(3)变形労働時間制導入が在校時間の短縮につながるとする具体的な根拠について。

**答（教育長）** (1)市内全教職員の1日当たりの年平均の勤務時間は、小学校では、令和4年度が9時間26分、中学校では、9時間33分となっています。

(2)国が定めた法律に対し、一自治体の教育長が述べるものではありませんが、教員は、多岐にわたる業務があることから、非常に多忙なものと認識しています。

そのため、子どもたちへの関わりが十分に行えるよう、北海道からの補助スタッフの配置に加え、本市独自の対応として、少人数学級への補助教員の配置のほか、学習支援員の増員配置など、教職員の負担軽減や児童・生徒への、より手厚い指導が可能となるよう様々な対応を講じているものと認識しています。

(3)本制度については、学校全体の業務改善や効率化が促され、結果として、教職員一人一人の在校時間の短縮につながるものと認識しています。

**問** 变形労働時間制の活用は、本人の自由で、選択権は本人にあり、それに対する外圧や指示、指導は一切なく、あくまで自分の選択として与えられている権利という認識でいいのか。

**答（教育長）** お見込みのとおりです。もし、そのような外圧があるというのであれば調べていただきたいと思えます。

### 在宅高齢者等向け

### 除雪サービスに関する件

**問** 本事業の今後の展望をどのように考えているか

**答** 市長  
町内会長などと情報共有し、継続してまいりたい

**問** 市は、高齢者世帯等を対象に除雪サービスを実施していますが、雪の多い地域に住む高齢者などにとって、このサービスは非常に大切な制度として、多くの方々に大変喜ばれています。

一方、サービスの提供を町内会の方々や除雪協力員のボランティアに依拠しているところですが、ボランティアの成り手不足や高齢化などにより、本事業の今後に不安を感じる声も聞かれます。

本事業の今後の展望をどのように考えているかお知らせください。

**答（市長）** 町内会を主体とした地域の助け合い活動の一環として、除雪ボランティアの確保等について、市、町内会長、民生児童委員、社会福祉協議会のボランティアセンターなどと情報共有を密にし、市民の皆さまの御理解と御協力をいただきながら、事業を継続してまいりたい。

### マイナンバーカードに関する件

**問** マイナンバーカードをめぐるトラブルは

**答** 市長  
現時点で本市での誤り事案は確認されていません

**問** マイナンバーカードをめぐる、コンビニで別人の住民票を交付、他人の預金口座を誤登録、マイナ保険証に別人の医療情報をひも付けるなど、トラブルが後を絶ちません。

北斗市におけるトラブルの発生状況についてお知らせください。

**答（市長）** 現時点では、全国で発生しているような、マイナンバーカードに関する誤り事案は確認されていません。



公金受取口座確認画面  
(マイナポータルにログイン)





宮川 勇 議員



録画映像

池田市長のコロナワクチン接種

に関する件

**問** 65歳以上の方が対象の時期に市長がワクチン接種をした経緯は

**答** 市長 基礎疾患のある者として申請し、ワクチン廃棄を防ぐキャンセル枠で予約した接種をした

**問** 私が今回、立候補した理由が、この疑問から始まっています。

市民の方々にもこの点について訴えておりましたので伺います。

2022年2月15日、市長は3回目の接種をされていますが、この時期は65歳以上の方が対象者のはずです。

市長はどのような事情で接種したのか経緯も含めお尋ねします。

**答** (市長) 本市では、一般的には、64歳以下の方の3回目のワクチン接種を令和4年3月から行う旨、広報ほくとでお知らせしていますが、一方で、基礎疾患がある方などで2回目の接種を受けてから

7、8カ月を経過した方には、令和4年3月よりも前に3回目接種ができるよう案内をしていたところで。

私は、基礎疾患のある者として申請し、2回目の接種を令和3年7月に終えており、基準により、令和4年2月上旬に接種券が届きましたので、それを基に、ワクチン廃棄を防ぐキャンセル枠でありましたが予約し、接種を受けた経過です。

**問** 議会議員選挙の際にこの内容を記載した私の後援会チラシを投函したことで誹謗中傷されていると言われたようですが、その辺を踏まえて市長には真摯な対応をお願いしたい。

**答** (市長) 宮川議員のチラシの件ですが、その中身は虚偽ですとか誹謗中傷となり、また名誉棄損に当たるものも沢山あると思いますので、私の基礎疾患の診断書も含めて、証拠書類をしかるべく機関に提出しています。

一次産業の活性化に関する件

**問** 六次産業化への支援は

**答** 市長

今年度より「北斗市六次産業化支援事業補助金」を創設し、今後は地域経済の発展につなげたい

**問** ウクライナ戦争が始まってから世界的に化学原料調達が厳しくなり、価格が80%も値上がりしている状態です。

この状況を踏まえ以下お聞きします。  
(1) 酪農家には新たな支援が出されるようですが、そのほかの農家に新たな施策があればお知らせください。

(2) 現在の漁業者数を専業と兼業別、また、養殖事業についての考えをお知らせください。

(3) これまでの六次産業化の取り組みへの支援を含め、今後の市の考えをお知らせ下さい。

**答** (市長) (1) 昨今の肥料、燃料、農業用資材や飼料等の急激な価格高騰は、農業経営に大きな影響を与えています。

北海道は、化学肥料購入支援金給付事業を実施し、市内の農業者66名が交付を受けており、また、今年度は、国の肥料価格高騰対策事業が実施されることになっていきます。

市は、事業に関する説明会の開催や、申請等の受付準備を進め、多くの農業者がこの制度を活用してもらえよう、積極的な制度周知に努めてまいります。

(2) 本年4月1日時点の上磯郡漁協組合員数は84名となっており、5年前に調査が行われた2018年漁業センサスによると、漁家数81戸のうち専業が14戸、兼業が67戸となっています。

養殖事業については、現在、生産、価格ともに安定しているワカメとコンブの養殖事業の増大を図っていくことを基本に、他地域における先進事例などの情報収集に努め、つくり育てる漁業を推進してまいります。

(3) 六次産業化は、初期投資がかかることから、一部の農業者からの相談でありますが、国の六次産業化事業の紹介などを行い、現在、いくつかの事業者が六次産業化に関連した事業を実施しています。

市は、今年度より六次産業化に向けた取り組みに必要な施設等の整備に対して、経費の一部を補助し、付加価値の創出と販売力の強化による持続可能な農林漁業経営の確立等を目指し、「北斗市六次産業化支援事業補助金」を創設しました。

今後は、この制度の周知に努め、多くの事業者を活用していただき、地域経済の発展につなげてまいります。



野菜の直売や体験工房がある  
「(有)緑友会 六輪村」

# 一般質問



高村 智 議員



録画映像

少子高齢化対策と安全対策に関する件

**問** 津波対策で海に近い学校に救命胴衣を用意しては

**答** 総務課長  
他の自治体の導入事例を研究してまいりたい

**問** 政府は異次元の少子化対策として、経済的支援・保育サービスの充実・制度の改革を打ち出し検討を始めました。以下の点について質問します。  
(1)市は、今後の保育事業に関して、どのように考えているのか。  
(2)高齢化で一番の課題は、施設への入所が困難で、老老介護や親の介護による離職の高まり、ヤングケアラーの増加につながるかと考えますが、市としてこれからの対策をどのように考えているのか。  
(3)国、北海道、函館市、七飯町の過去5年間の出生率と北斗市との比較をし、今後の課題解決に向けた取り組みはあるか。  
(4)安全対策として喫緊の課題は、大規模地震による津波対策です。

授業時間に津波警報が発令された場合の具体的な避難路の確保に関して、各学

**答** 校長 校への指導はどのようになっているのか。  
**答** (市長) (1)市として、国の改善内容を注視し適切な時期に制度変更できるような対応をするともに市民ニーズに即した必要な支援を検討してまいりたい。

(2)高齢者の在宅介護サービスを利用される方が増えたことで施設入所者は減少しています。  
しかし、在宅サービスを利用される方やご家族等が老老介護等や介護離職とならないようケアプランの作成を進め、ヤングケアラーなどは、実態把握に努めた上で適切な取り組みを進めてまいりたい。

(3)今後、本市の出生率の向上を目指し、これまでにない新たな視点・発想も取り入れながら、子どもを産み育てたいと思える子育て環境を整えてまいりたい。

直近5年間の合計特殊出生率について  
(北斗市と北海道、国、函館市、七飯町)

区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
北斗市	1.33	1.30	1.22	1.09	1.05
北海道	1.27	1.24	1.21	1.20	1.12
国	1.42	1.36	1.33	1.30	1.28
函館市	1.23	1.18	1.14	1.15	未公表
七飯町	1.30	1.28	1.23	未公表	未公表

(出典：子育て支援課課内資料及びホームページ等公表数値より)

(4)授業時間に津波警報が発令された場合の具体的な避難路の確保は、市としても避難訓練に職員が学校に向いて助言するなど共通理解を深めています。

**問** 津波対策として海に近い学校等に救命胴衣を用意すべきと考えるが。

**答** (総務課長) 担当部局の判断もありますが、他の自治体の事例について研究してまいりたい。

北斗市役所の職場環境に関する件

**問** 職員の有給休暇取得率は

**答** 市長  
令和4年度は25・2%

**問** 働きやすい環境とは一概にこれと言うのは難しいですが、大事なものは、公務員試験をクリアして就職した若い職員が退職して違う仕事を探そうと考えない職場環境であることが重要だと考えます。

市長就任以来の職員の有給休暇取得率を暦年別にお知らせください。  
**答** (市長) 地方公共団体の勤務条件等に関する調査に基づく実績では、平成30年が22・5%、令和元年が21・5%、令和2年が22・2%、令和3年が23・7%、令和4年が25・2%となっています。

**問** 特に若手職員や子どもがいる職員には、積極的に有給休暇をとるよう伝え、

子どもの授業参観などに行くようにしてはかがが。

**答** (市長) 取得日数が低いというのは反省しなければなりませんので、これからも有給休暇を取得するよう職員に今以上に働き掛けていきます。



本庁舎1階の勤務状況

随意契約に関する件

**問** これまでの決まりと今回のガイドラインの違いは

**答** 市長  
取り扱いに対する考え方に相違はありません

**問** これまでの随意契約に関する決まりと今回のガイドラインの違いは具体的に何かをお知らせください。

**答** (市長) 策定前と策定後において随意契約の取り扱いに対する考え方に相違はありません。

# 一般質問



新関 一夫 議員



録画映像

## 子育て支援に関する件

**問** ヤングケアラーの実態と今後の取り組みは

**答** 市長  
相談事例はないが、調査結果など踏まえ必要な体制と支援を検討する

**問** 急激な人口減少を背景として子育て支援は、喫緊の課題となっておりますが、ヤングケアラーについて現在の当市の実態と今後の取り組みについて伺います。

**答(市長)** 市は、令和7年度から5カ年の期間とする第3期子ども・子育て支援事業計画の策定のためニーズ調査を実施予定で、この調査によりヤングケアラーの実態を把握したいと考えています。

現時点では、総合相談窓口の「子ども家庭総合支援拠点」にヤングケアラーと思われる子どもからの相談はありませんが、ポスター等を配布するなど、周知や啓発活動を行い、今後も、国の制度内容を注視しつつ、調査結果と併せ必要な体制と支援を検討してまいります。

## ワイン事業に関する件

**問** 観光・商工振興を図るため文月・向野地区に店舗を誘致できる制度は

**答** 市長  
農業者が自らの生産物で行うグリーン・ツーリズム計画に位置付けすることで建設が可能

**問** 三ツ石地区の北斗ワインヤード及び文月・向野地区でのワイン生産等の事業展開について進捗状況をお聞きます。

また、本市にとり、ワイン事業を契機として、観光振興・商業振興を図っていくことが重要なことと認識しています。

文月・向野地区に、「カフェ」や「ハンドメイド」の店等を誘致できる制度や計画が進んでいるのかお聞きます。

**答(市長)** 三ツ石地区にある北斗ワインヤードは、現在約18・1ヘクタールに約1万8千本の醸造用ブドウの苗木が植え付けられ、昨年に収穫のシャルドネを使用したワインが、今年6月から約500本限定で発売されています。

文月・向野地区については、今年秋に(株)農楽(のら)とデュエプンティ(株)の2つのワイナリーが完成し初仕込みが行われる予定で、(株)トロッコもワイナリーを

計画し、(株)ヒュッケは、農泊施設を計画しています。

市は、グリーン・ツーリズム計画を見直し、グリーン・ツーリズムに必要な施設に限り、建築が認められるよう進め、文月・向野地区を収穫体験型観光エリアと位置付け、総合的な観光型農園として振興を図っていくことにしています。

なお、文月・向野地区は、農業に必要な建物以外は、建築することができない地域となっておりますが、農業者が自らの生産物等で行うのであれば、グリーン・ツーリズム計画に位置付けることにより、特例的に建設が可能になるものです。



北斗シャルドネ(初収穫)2022

## 北海道新幹線トンネル工事における発生土に関する件

**問** 柳沢地区に仮置きが発生土の最終的な処分は

**答** 市長  
村山地区受入地の状況が納得できる見通しを確認後に協議・検討する

## LED照明設備設置に関する件

**問** 一者特命随契はガイドラインに合致していたのか

**答** 市長  
ガイドラインに抵触しているとは考えていない

**問** 市は、本年1月に「北斗市随意契約ガイドライン」を策定しましたが、「LED照明設備設置特命随契」がガイドラインと合致していたのかをお尋ねします。

また、LED照明設置の一者特命随契について、現在どのように考えているか。

**答(市長)** あえて申し上げるとすれば、より慎重な検討・対応が必要だったというところは否めませんが、ガイドラインに抵触しているとは考えておりません。

本件に関しては、監査結果でのご指摘、一般会計決算認定に対する付帯決議等を真摯に受けとめ、今後の円滑な市政運営に努めてまいります。

**問** LED照明設備設置特命随契において、一者しかないとはい込んだのは誰だったのか。

**答(副市長)** この件については、私が中心となった検討の中で判断をしました。



## 委員会活動をお知らせします

### 議 会

#### 運営委員会

- ・4月5日に委員会を開催し、議会だより（No.74）の監修についての協議を行いました。
- ・5月12日に委員会を開催し、正副委員長の互選、議会運営に関する協議、議会だより（No.75）の監修を行いました。
- ・6月9日に委員会を開催し、第2回定例会の議会運営（会期日程等）に関する協議を行い、会期を6月19日から6月26日までの8日間としました。

### 総 務

#### 常任委員会

#### 第2回臨時会中の開催 =5月12日開催=

正副委員長の互選を行いました。

#### 第2回定例会中の審査 =6月22日開催=

定例会で付託された、条例の一部改正（2件）の審査を行いました。

#### ◆ 北斗市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について =原案可決とすべきものと決定=

新型コロナウイルス感染者等への対応業務に従事した職員に対する感染症作業手当について、本年5月8日付けで、感染症法上の位置付けが5類に移行されたことから、これまでの特例規定を廃止するための一部改正です。

Q 具体的にどのような業務に対し、手当を支給していたのか。

A 火葬業務や自宅療養者への療養セットの配送業務を対象としていました。

Q 感染症法上の位置付けが5類に移行したことにより、火葬場での対応はどのように変わるのか。

A 火葬のガイドラインも変更されており、5類に移行前は防護服の着用等をしていましたが、移行後は通常の火葬として取り扱うことになっています。

#### ◆ 北斗市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

=原案可決とすべきものと決定=

生活保護の医療扶助におけるマイナンバーカードを活用したオンライン資格確認が、本年度中に本格導入されることに伴い、生活保護法に準じる外国人の取り扱いについても、生活保護法に基づく日本人の取り扱いと同様、医療扶助におけるオンライン資格確認を可能とするための一部改正です。

Q 外国人は、住民基本台帳システムに登録されているのか。

A システムに登録されています。

Q 住民登録している外国人の人数は。

A 令和5年5月末時点で280人です。

Q 外国人の児童生徒の学校対応は。

A 学校では翻訳機などを活用して対応しています。



総務常任委員会のおようす

## 文教厚生

### 常任委員会

第2回臨時会中の開催 =5月12日開催=

正副委員長の互選を行いました。

第2回定例会中の審査 =6月23日開催=

定例会で付託された、条例の一部改正（3件）の審査を行いました。

#### ◆ 北斗市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について

これまで、子ども医療費の助成対象外としていた、高等学校等に在学していない者などの、例外規定を削除することにより、北斗市に住む全ての満18歳に達する日以後、最初の3月31日までの者を子ども医療費の助成対象とするもので、本年7月1日以降の診療分から適用するための一部改正です。

Q 18歳までの被保険者の対応はどうか。

A すべての該当年齢の方が医療助成の対象となります。

Q 改正により受給できる方は申請が必要なのか。

A 不要です。

=原案可決とすべきものと決定=



子ども医療費受給者証（見本）

#### ◆ 北斗市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営の基準に関する条例の一部改正について

=原案可決とすべきものと決定=

こども家庭庁の設置に伴い、子ども・子育て支援法が改正されたことによる、引用条項の条ずれなどの改正をするための一部改正です。

#### ◆ 北斗市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について

=原案可決とすべきものと決定=

こども家庭庁の設置に伴い、厚生労働省で定める家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に併せ、所要の改正をするための一部改正です。

## 産業建設

### 常任委員会

第2回臨時会中の開催 =5月12日開催=

正副委員長の互選を行いました。

### 議会の模様がインターネットでご覧いただけます。

- 北斗市議会ホームページの「議会映像」→「市議会インターネット中継」をクリックすると、視聴方法の選択画面（「ライブ中継を見る」・「録画映像を見る」）に進みます。

<http://www.city.hokuto.hokkaido.jp/docs/1987.html>

北斗市議会

検索

- 市役所や総合分庁舎などでも、議会中継の様子が設置モニターでご覧になれます。

【ご覧いただける場所】・市役所本庁舎・総合分庁舎・市役所七重浜支所、茂辺地支所



## 北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会

=6月26日開催=

第6期北斗市議会議員による「北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会」が設置されました。

北海道新幹線トンネル工事については、札幌延伸を令和12年度末の開業に向けて、北斗市では4工区のトンネル工事が進められており、令和元年度には市より、鉄道・運輸機構に対し、トンネル工事における市民の安心をさらに高める取り組みの検討を要請し、鉄道・運輸機構からも対策についての回答を得たところです。

しかしながら、その後もトンネル工事に伴う掘削発生土については、村山地区受入地におけるセレン濃度の環境基準超過や村山地区受入地の受入条件に適さない対策土を含めた対策土の新規受入地の選定、柳沢地区仮置き場の再拡張など、市民の安全・安心の暮らしに関わる課題が残っていることから、今後も調査が必要不可欠であると判断し、本委員会を設置したものです。

6月26日に委員会を開催し、正副委員長の互選を行いました。



渡島トンネル入口

特別委員氏名					(◎ 委員長、○ 副委員長)
◎ 白石勝士	○ 山本正宏	吉田直樹	伊藤洋平	日笠朝子	
仲村千鶴子	工藤秀子	高村智	秋田厚也		

## その他の会議など（市議会）

### ■ 会派代表者会議

5月10日、12日に北斗市役所で開かれ、常任委員会の所属や一部事務組合・広域連合議会議員の選挙など議会構成に関する協議をしました。

6月19日、21日、23日に北斗市役所で開かれ、北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会の設置等に関する協議をしました。

### ■ 全員協議会

5月12日に北斗市役所で開かれ、議会選出の監査委員についての協議、団体定期保険等の加入説明を受けました。

6月21日に北斗市役所で開かれ、閉会中における正副議長の公務活動、一部事務組合・広域連合議会の概要、市から報告事項（1件）について報告されました。

# 一般事務組合・広域連合議会の動き

## ■ 南渡島消防事務組合議会

5月23日、令和5年第1回臨時会が南渡島消防事務組合消防本部で開かれ、議長選挙、副管理者の選任同意、監査委員の選任同意（2件）、令和5年度一般会計補正予算について審議され、可決・同意されました。

議長に玉森大樹議員が選出されました。

## ■ 南渡島衛生施設組合議会

5月25日、令和5年第1回臨時会が南渡島衛生施設組合で開かれ、議長選挙、副議長選挙、監査委員の選任同意について審議され、可決・同意されました。

副議長に山本正宏議員、監査委員に日笠朝子議員が選出されました。

## ■ 函館湾流域下水道事務組合議会

6月16日、令和5年第1回臨時会が函館市役所で開かれ、議長選挙、副議長選挙、管理者の選挙、副管理者の選任同意、監査委員の選任同意について審議され、可決・同意されました。

副議長に寺澤十郎議員が選出されました。

## ■ 函館圏公立大学広域連合議会

6月16日、令和5年第1回臨時会が函館市役所で開かれ、議長選挙、副議長選挙、監査委員の選任同意について審議され、可決・同意されました。

監査委員に新関一夫議員が選出されました。

## ■ 渡島廃棄物処理広域連合議会

5月26日、令和5年第1回臨時会が渡島廃棄物処理広域連合で開かれ、議長選挙、副議長選挙、議会運営委員の選任、副広域連合長の選任同意、監査委員の選任同意について審議され、可決・同意されました。

議長に白戸昭司議員、議会運営委員長に栃木正則議員が選出されました。

一部事務組合議会及び広域連合 議員名簿及び各議会での役職等

南渡島消防事務組合議会	議長 玉 森 大 樹	白 石 勝 士	工 藤 秀 子
南渡島衛生施設組合議会	副議長 山 本 正 宏	監査 日 笠 朝 子	前 田 治
函館湾流域下水道事務組合議会	副議長 寺 澤 十 郎	吉 田 直 樹	
函館圏公立大学広域連合議会	監査 新 関 一 夫	伊 藤 洋 平	
渡島廃棄物処理広域連合議会	議長 白 戸 昭 司	議会運営委員長 栃 木 正 則	宮 川 勇

## = 議会開催予定 =

第3回北斗市議会定例会は9月を予定しています。

議会の傍聴は、市民の代表である議員がどんな活動をしているのか、市政がどのように運営されているのかなどを知る良い機会です。

傍聴を希望する方は、市役所3階本会場傍聴席までお越しください。



# 議会日誌 (令和5年4月1日～令和5年6月30日)

4月5日	議会運営委員会	6月9日	議会運営委員会
6日	北海道市議会議長会道南支部議長会議『苫小牧市』(正副議長)	13日	北海道市議会議長会中央実行運動『東京都』(議長)
25日	例月出納検査(監査委員議員)	14日	全国市議会議長会第99回定期総会『東京都』(議長)
26日	例月出納検査(監査委員議員)	16日	函館湾流域下水道事務組合議会臨時会(組合議員)
5月10日	会派代表者会議	19日	函館圏公立大学広域連合議会臨時会(連合議員)
12日	北斗市議会第2回臨時会本会議	21日	北斗市議会第2回定例会本会議(第1日目)
	会派代表者会議		会派代表者会議
	総務常任委員会		北斗市森林・林業・林産業活性化議員連盟役員会
	文教厚生常任委員会		北斗市商工観光振興議員連盟役員会
	産業建設常任委員会	21日	定例会本会議(第2日目)
	議会運営委員会		会派代表者会議
	全員協議会		全員協議会
22日	渡島総合開発期成会定期総会『函館市』(議長)	22日	総務常任委員会
23日	南渡島消防事務組合議会臨時会(組合議員)		例月出納検査(監査委員議員)
24日	例月出納検査(監査委員議員)	23日	文教厚生常任委員会
25日	南渡島衛生施設組合議会臨時会(組合議員)		会派代表者会議
	例月出納検査(監査委員議員)		例月出納検査(監査委員議員)
26日	渡島廃棄物処理広域連合議会臨時会(議長、連合議員)	26日	定例会本会議(第3日目)
	渡島廃棄物処理広域連合議会「議会運営委員会」(議長、連合議員)		北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会
30日	北海道市議会議長会定期総会『札幌市』(正副議長)		北斗市森林・林業・林産業活性化議員連盟総会
	北海道市町村職員退職手当組合議会議員互選会『札幌市』(議長)		北斗市商工観光振興議員連盟総会
6月6日	北海道市町村職員退職手当組合議会臨時会『札幌市』(議長)	28日	渡島総合開発期成会札幌要望『札幌市』(議長)

## 全国市議会議長会表彰

第99回全国市議会議長会定期総会(6月14日)において、永年勤続議員として全国市議会議長会より表彰され、6月19日の第2回定例会において表彰状が伝達されました。

- 市議会議長4年以上  
中井 光幸 議員
- 市議会副議長4年以上  
白戸 昭司 議員
- 市議会議員25年以上勤続表彰(特別表彰)  
山本 正宏 議員
- 市議会議員20年以上勤続表彰(特別表彰)  
坂見 英幸 議員
- 市議会議員15年以上勤続表彰  
新関 一夫 議員  
白石 勝士 議員



〔合併により市制を施行した議員の勤続年数は、町議会議員年数の二分の一が勤続年数に通算となります。〕

## 編集後記

▼4月23日に市議会議員選挙が行われ、新しい任期がスタートしました。

編集委員の構成も変わり、心新たに4年間の任期中「北斗市議会だより」を通じて、議会活動をお知らせしていきます。

▼第2回定例会が6月19日から26日までの8日間の日程で開催され、7名の議員から15件の一般質問があり、熱く議論を交わしました。

また、一般会計補正予算では、地域経済緊急対策応援キャンペーン事業補助金(第5弾)が可決され、市民1人当たり5千円分のクーポン券を交付し、9月1日から使用することができま。

▼4月1日から閉鎖されていた市役所内簡易郵便局が8月1日に再開予定となりました。

▼令和6年3月1日より、住民票の写し等を市内コンビニエンスストア等(市内28カ所)で取得できるサービスが開始される予定です。

▼新型コロナウイルス感染症は、法律上の位置づけが2類から5類に引き下げられ、市民生活も正常に戻りつつありますが、感染者が増えている町もあり、感染拡大が心配されます。

▼令和5年度全国高校総体相撲競技大会が8月4日から3日間、北斗市総合体育館で開催されます。市民の皆さんの応援をよろしくお願いいたします。

(編集委員 秋田 厚也)

☆市議会だよりをご覧いただきありがとうございます。皆様のご意見感想をお聞かせください。  
『☎73-3111 FAX 73-6970』『メールアドレス gikai@city.hokuto.hokkaido.jp』

印刷/朝日印刷